

事務事業名		社団法人日本住宅協会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	建築住宅課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	建築住宅係	担当課長名	金子悦雄	
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 快適で安全な住まいづくりの推進と市営住宅の適正な管理・運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11965	一般	8	5	1	社団法人日本住宅協会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
社団法人日本住宅協会に会員として負担金を支出している。また、協会主催の会議や研修会に参加することにより、住宅に関する情報収集や意見交換を行っている。 日本住宅協会は住宅政策を推進し、住宅問題の解決促進と住生活水準の向上を図ることを目的とした団体である。			(市の活動) 協会に負担金を支出、協会主催の会議、研修会の参加を行う。 (社団法人日本住宅協会の活動) 会議、研修会を開催する。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会議出席回数	回	0	0	1	1	1	
			研修会出席回数	回	0	0	1	1	1	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
建築住宅課職員			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			建築住宅課職員数	人	11	8	7	7	7	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
① 他の住宅環境の状況や最新情報を得る			他の団体の状況や最新情報を得た職員の割合	%	100	100	100	100	100	
② 職員の資質の向上を図る。			協会が有意義であると回答した職員の割合	%	100	100	100	100	100	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
① 質の高い住宅づくりに有効な情報を得られている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
② 法令に基づく申請等が行われている。			長期優良住宅等認定件数	件	-	96	155	160	165	
			完了検査率	%	-	110.8	93.0	94.0	95.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		18		18		18		18		18
	事業費計(A)	千円		18		18		18		18		18
	事業費の内訳	千円	負担金、補助金及び交付金	18	負担金、補助金及び交付金	18	負担金、補助金及び交付金	18	負担金、補助金及び交付金	18	負担金、補助金及び交付金	18
人件費	人	4	人	3	人	3	人	3	人	3		
のべ業務時間	時間	20	のべ業務時間	15	のべ業務時間	15	のべ業務時間	15	のべ業務時間	15		
人件費計(B)	千円	78	人件費計(B)	59	人件費計(B)	59	人件費計(B)	59	人件費計(B)	59		
トータルコスト(A)+(B)	千円	96	トータルコスト(A)+(B)	77	トータルコスト(A)+(B)	77	トータルコスト(A)+(B)	77	トータルコスト(A)+(B)	77		

事務事業名	社団法人日本住宅協会参画事業	担当部	都市建設部	担当課	建築住宅課	担当係	建築住宅係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	協会への参画時期は不明。 社団法人日本住宅協会の設立は、昭和27年3月。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	なし
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	この団体の活動に参画することにより、住みやすいまちづくりに関連、貢献している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	この団体の活動に参画することは、快適で住みやすい住環境を創出することという理由で公益上必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は社団法人日本住宅協会に参画するための負担金のため、対象と意図はあっている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	参画することにより、住宅政策、住宅問題の解決等、向上が図られ、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	この事業の負担金は最小限に抑えられており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	負担金は公費により負担しているもので、改めて負担を求めるものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	快適で住みやすい住環境を整備するために、廃止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	ホームページの内容拡充により情報提供の充実を図る。																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			